



第1回ふれあい作品展 最優秀作品 「デイナイト・ケア利用者様 作」

有朋会・理念

- 1 私達は、明るく開放的な雰囲気をつくり、様々なこころの悩みに応えることができる法人を目指します。
- 2 私達は、患者様、利用者様一人一人を尊重した支援を行い、共に歩んでいきます。
- 3 私達は、情熱と誇りを持って質の高い医療・介護を提供します。

新年挨拶

院長 栗田 裕文



院長の栗田裕文です。

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は地域の皆様、連携をしていただいています諸機関の皆様のご協力のお陰で、つつがなく運営が出来ました。本当にありがとうございました。

医療法人有朋会は、1. 「こころ」の病気の外来～入院医療、2. 「こころ」の病気の地域生活支援、3. 認知症ケア&サポート、の3つの柱を軸とした「こころ」のケアで、地域の「こころ」の医療・介護の向上を目指しております。

患者様やご家族様、地域の皆さま等々、様々な方々の「こころ」に暖かな灯かりを燈していくことが、私達の願いです。その人がほっと安らいだり。ホットな熱い気持ちが湧き上がったり。そんな援助や支援を目指して、今年も情熱を持って邁進して参ります。

まだまだ、十分ではないところはあるかも知れません。地域の皆様と手を取りあい携えながら、共に歩いていければ嬉しいです。

副院長 安部 秀三



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。

私達も関係者各位様のお陰をもちまして、無事に平成23年新春を迎えることができました。

ここ最近地域ケアにおいて、こころの問題や認知症は大きな話題となっています。当法人としては病院での治療にとどまらず、地域の関係者の方々との連携を通じてより安心した地域作りをしていきたいと考えています。

今年はこれまで行ってきた地域住民の方を対象とした各種の啓発活動だけでなく、認知症疾患医療センターとして地域の医療機関・地域包括支援センター・介護施設等とより一層連携をしていきたいと思っています。また、精神科急性期病院として地域の医療機関からスムーズな受診・入院ができるようすすめていきたいと思っています。同時に医療の質も多職種チーム医療を進め、安心安全でより満足できる質の高い精神医療を目指したいと思っています。

本年も地域から信頼されるより良い医療機関を目指して、職員とともに今まで以上に取り組んでいきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

各部署紹介 ～訪問リハビリテーション～



私たちの部署は4月より訪問看護から名称が変わり訪問リハビリテーションとして活動しております。

退院された患者様や、外来通院中の患者様の自宅やアパート、施設などの生活の場に訪問させていただき、実生活の中での困り事を、ご本人様、ご家族様と共に考え、質の良い安心した生活が送れるようにお手伝いさせていただいています。

訪問リハビリテーションのスタッフは看護師4名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名の計6名です。役割として看護師は患者様の症状の観察、服薬の確認、患者様やご家族様の心配な事や不安な事などを傾聴し心理的サポートをしています。作業療法士は生活のしづらさを少しでも軽減し、生活技能訓練（料理、掃除、金銭管理、対人関係など）を中心に生活の質の向上を目指しています。

精神保健福祉士は患者様をとりまく様々な環境を把握し、ニーズに応じた社会資源や制度について情報を提供したり、関係機関との連絡調整をとりその人らしい生活の提供に努めています。

このように私達は、多職種で取り組み、専門性を発揮しながら幅広いサービスを患者様に提供できるよう、医師をはじめコメディカルや関連機関とも連携をとりながら患者様のよりよいサービスに繋げていきたいと思っています。

訪問リハビリテーション サブリーダー 看護師 吉澤 美佐子



平成22年度 院長賞 受賞

第1回ふれあい作品展

デイナイト・ケアスタッフ一同

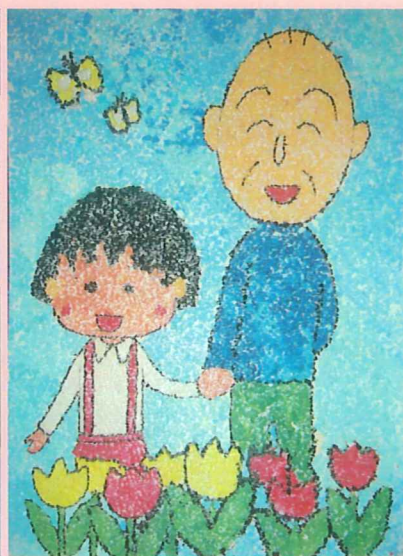
平成22年11月19日、20日に『第1回 ふれあい作品展』が開催されました。

入院患者様と施設・通所利用者様の交流を目的とした、合同での作品展となりました。合同での実施は初めての試みでしたが、書道や手工芸・絵画や共同作品など多くの多彩な作品が出品され、賑やかな作品展となりました。また、作品の出展以外にも喫茶コーナーやお楽しみ（ゲーム）コーナーの運営も行われ、患者様や利用者様が接客を行いました。

患者様や利用者様は、案内係や接客係を通して生き生きとした表情をしており、交流を楽しんでいる様子がみられました。日頃の作品をたくさんの方々に見ていただく良い機会ともなり、活気にあふれていたように思います。

今回の作品展では、2日間を通して270名の方にご来場いただきました。地域の方々やご家族の皆さまのご協力があったのことにと思います。ありがとうございました。

また、ご来場いただいた方々からは「どの作品も立派で、感動した。」「一生懸命に作っているのが伝わってきた。」「欲しくなってしまう作品がいっぱいあった」など、作品に関する感想や、「楽しかった。来て良かった。」「温かい気持ちになった。」「来年もぜひ来たい。」との嬉しいお言葉もいただきました。来年度もこのような作品展が開催出来ますよう、日々の支援やプログラムを行っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。





看護師 中村 吉臣

今回看護研究の症例発表を日本精神科看護技術学会で行わせていただきました。

今回は「保護室での患者の思い」というところに焦点を当て、保護室入室において患者様がどのような苦痛を受け、保護室というものをどのように捉えているのかという所をインタビューを通して聞くことができました。

患者様からは様々な苦痛や要望などがありましたが、それを親身になって看護師も考えていくことによって患者様は看護師を受け入れ、保護室という治療を受け入れて行くという事が出来るのだという事がわかりました。



看護師 小室 孝子

10月30日に日本精神科看護技術協会の茨城支部で看護研究の発表をさせていただきました。

他病院の方々の前で緊張しながらもまとめた研究を発表できたことはとても良い経験になりました。

私は精神科に従事して10年になります。その中で患者様の生活歴や思いを感じるたびに、看護師として私には何が出来るのだろうと模索してまいりました。そしてこのたび受け持ち看護師と患者のかかわりの過程をまとめ研究する機会を頂きました。

当院で定期的に行っている事例検討会で検討を重ね、私に不足していたものに気付く事ができました。そして今までやってきた精神看護を今後に継続していく力にもなりました。

また、事例研究として看護研究を発表することが出来たことは、私のスキルアップにも繋がっていく事だと思います。

今後も少しでも患者様の辛さや不自由さを理解でき、そのためにどのような看護を提供すべきか考え行動できる精神科看護師として精進できれば良いと考えています。

外来担当医一覧表

＝内科

H22.9.1より

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	安 部	片 野	安 部	栗 田	鈴 木	水 挽
	2 診	堤	高 橋	堤	遠 藤	堀	太刀川
	3 診					伊 藤	第1,3,5 吉川 第2 鈴木 第4 安部
	5 診						高 橋
午後	1 診	栗 田				第2,4 鈴木 もの忘れ外来	休 診
	2 診		袖 山	休 診		第1,3,5 鈴木 第2,4 安谷屋	
	3 診		佐 藤		伊 藤	中 村	

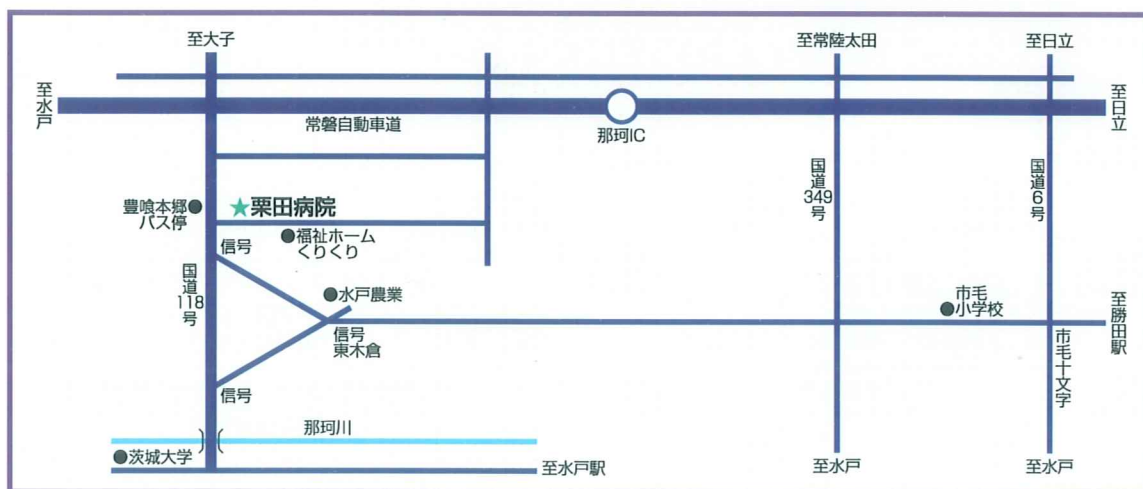
受付時間 午前 8:00～11:30
午後 11:31～15:00
診察時間 午前 9:00開始
午後 13:30開始

*精神科外来は**完全予約制**になります。
*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

予約電話対応
月～土（祝日を除く）
9:00～17:00
TEL 029-298-0175

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
 2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しく話を伺い、その後ご予約をお取りします。
- *現在、他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要です。
*当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。



水戸方面から

- ① 水戸駅北口から国道50号線を笠間方面へ。
- ② 大工町警察署のある交差点を右折。
- ③ セブンイレブンのある交差点を左折。
- ④ 国道118号線・常陸大宮方面行きの標識があるので、その信号を右折。
- ⑤ しばらく進むと右手に目的地です。

ひたちなか方面から

- ① 国道6号線・市毛十字路交差点を水戸方面の場合は左折、日立方面の場合は右折。
- ② しばらく進み、国道349号線（デイリーヤマザキのある交差点）を超え、更に進むと国道118号線のT字路にぶつかる。
- ③ T字路を右折し、しばらく進むと右手に目的地です。

* ご不明な点が御座いましたら下記の電話番号までご連絡ください。

TEL 029-298-0175